
開講科目名：行政法研究 (4単位)

開設年次：1年 2年 3年 4年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：萩原 聡央

《授業の概要》

【授業の概要】

この講義では、第一に、行政活動に対する実体的・手続的統制の法理について検討する。第二に、行政活動に対する国民の権利利益の保護および救済の観点から、国家補償および行政争訟を中心に、行政救済の法システムについて検討する。なお、この講義で検討する内容は以下のとおりである。

- 1 現代行政と行政法
- 2 行政法および行政法の法源
- 3 行政法の基本原理
- 4 行政体と行政機関
- 5 行政機関相互の関係
- 6 行政準則
- 7 行政計画
- 8 行政行為
- 9 行政指導
- 10 行政契約
- 11 行政調査
- 12 行政の実効性を確保する制度
- 13 個人情報保護・情報公開
- 14 行政上の苦情処理
- 15 行政上の不服申立て
- 16 行政事件訴訟
- 17 損失補償
- 18 国家賠償
- 19 結果責任に基づく国家補償

【評価方法】

受講状況およびレポートにより、総合的に評価する。

《テキスト》

市橋克哉・榊原秀訓・本多滝夫・平田和一『アクチュアル行政法』（法律文化社、2010年）

《参考書》

適宜指示する。